【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2003-188998(P2003-188998A)
【公開日】平成15年7月4日(2003.7.4)
【出願番号】特願2002-264944(P2002-264944)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｍ　3/56
　Ｇ０６Ｆ　17/60
　Ｈ０４Ｍ　3/42
　Ｈ０４Ｍ　3/432
　Ｈ０４Ｑ　7/38
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｍ　3/56　　Ｃ
　Ｇ０６Ｆ　17/60　　１６２Ａ
　Ｇ０６Ｆ　17/60　　１６４
　Ｈ０４Ｍ　3/42　　Ａ
　Ｈ０４Ｍ　3/432
　Ｈ０４Ｑ　7/04　　Ｄ
　Ｈ０４Ｂ　7/26　　１０９Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月27日(2004.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　データベース（１６０）、ユーザ端末（１０２）、カンファレンス確立サーバ及び前記ユーザ端末と前記サーバとの間の通信を容易にするための手段（１０４、１４２、１４６）を有するマルチメディア通信システム（１００）において、カンファレンスコールをスケジューリングするための方法であって、
　カンファレンスコールの参加者の表示を含む、カンファレンスコールに対するリクエストを、前記サーバが受信するステップ（２０２）と、
　前記カンファレンスコールの参加者のアベーラビリティを前記サーバが決定するステップ（２０４）と、
　前記カンファレンスコールのカンファレンス時刻を、前記サーバが参加者に通知するステップ（２１０）と、
　前記カンファレンスコールに対するアベーラビリティについての参加者からの確認を、前記サーバがリクエストするステップ（２１２）とからなり、
　本方法は、前記カンファレンスコールに必要と見なされる少なくとも1人のクリティカルな参加者の表示を特徴とし、本方法はさらに、
　前記カンファレンスコールに必要と見なされるクリティカルな資源として、所定の量の資源を、前記サーバが指定するステップ（２０６）と、
　前記カンファレンスコールのために少なくとも所定の量のクリティカルな資源を前記サーバが予約するステップ（２１４）と、
　前記カンファレンス時刻が近づいていることを、前記サーバが決定するステップ（４０

４）と、
前記カンファレンス時刻に対する参加者及び資源のアベーラビリティを前記サーバが決定するステップ（４０６）と、
前記カンファレンス時刻が近づいていることの通知を前記サーバが参加者に送るステップ（４０８）と、
前記カンファレンスコールに対する確認を更新するためのリクエストを前記サーバが受信するステップ（４１０）と、
クリティカルな参加者またはクリティカルな資源がアベーラブルでない場合、前記カンファレンスコールをキャンセルするステップ（４１８）とを有する方法。
【請求項２】
確認についてのリクエストに対する応答に基づいて、前記カンファレンス時刻を前記サーバが調節するステップをさらに有することを特徴とする請求項１記載の方法。
【請求項３】
カンファレンスコールに対する前記リクエストは、前記カンファレンスコールを規定するルールを含むことを特徴とする請求項１記載の方法。
【請求項４】
参加者及び資源のアベーラビリティを決定する前記ステップは、参加者に関連づけられたカレンダーをチェックすることおよび移動体ユーザ端末がアベーラブルであるかどうかを決定すること（２０６）のうちの少なくとも一方を含むことを特徴とする請求項１記載の方法。
【請求項５】
音声のユーザおよびマルチメディア通信を結合するマルチメディア通信システム（１００）において、カンファレンスコールをスケジューリングするための装置であって、
ユーザ端末（１０２）と、
カンファレンス確立サーバと、
前記ユーザ端末と前記サーバとの間の通信を容易にするための手段（１０４、１４２、１４６）とを有し、前記サーバは、
前記カンファレンスコールの参加者の表示を含む、カンファレンスコールに対するリクエストを受信し、
前記カンファレンスコールのカンファレンス時刻を参加者に通知し（２１０）、
前記カンファレンスコールに対するアベーラビリティについての参加者からの確認をリクエストする（２１２）ようにプログラムされ、前記サーバは、さらに、
前記カンファレンスコールに必要と見なされる、前記カンファレンスコールの少なくとも1人のクリティカルな参加者の表示を含み（２０４）、
前記カンファレンスコールに必要と見なされるクリティカルな資源として、所定の量の資源を指定し（２０６）、
前記カンファレンスコールのために少なくともクリティカルな資源を予約し（２１４）、
前記カンファレンス時刻が近づいていることを決定し（４０４）、
前記カンファレンス時刻に対する参加者及び資源のアベーラビリティを決定し（４０６）、
前記カンファレンス時刻が近づいていることの通知を参加者に送り（４０８）、
前記カンファレンスコールに対する確認を更新するためのリクエストを受信し（４１０）、
クリティカルな参加者またはクリティカルな資源がアベーラブルでない場合、前記カンファレンスコールをキャンセルする（４１８）ようにプログラムされることを特徴とする、カンファレンスコールをスケジューリングするための装置。
【請求項６】
前記サーバが、確認についてのリクエストに対する応答に基づいて前記カンファレンス時刻を調節する（２１０）ようにプログラムされることを特徴とする請求項５記載の装置

。
【請求項７】
カンファレンスコールに対する前記リクエストは、前記カンファレンスコールを規定するルールを含む（２１２）ことを特徴とする請求項５記載の装置。
【請求項８】
前記サーバは、参加者に関連づけられたカレンダーをチェックすることおよび移動体ユーザ端末がアベーラブルであるかどうかを決定すること（２０６）により、参加者のアベーラビリティを決定するようにプログラムされることを特徴とする請求項５記載の装置。
【請求項９】
前記サーバは、カンファレンスブリッジおよびカンファレンス番号のうちの少なくとも一方を資源としてリザーブするようにプログラムされることを特徴とする請求項５記載の装置。
【請求項１０】
前記サーバは、カンファレンスコールに関連する資料を、参加者に送るようにプログラムされる（４１６）ことを特徴とする請求項５記載の装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
カンファレンス確立サーバが、カンファレンスコールに対して参加者および資源がアベーラブルである日時を決定する場合（２０６）、カンファレンスの参加者には、カンファレンスの日時およびカンファレンスコールをセットアップするために必要とされるいずれかの追加的な情報が通知される（２１０）。また、アベーラビリティのコンファメーション（確認）が、カンファレンス確立サーバによりリクエストされる（２１０）。好ましくは、カンファレンスの参加者への通知は、カンファレンス確立サーバにより自動的に生成された、テキストメッセージ、オーディオメッセージ、ビデオメッセージ、双方向マルチメディアセッション、またはこれらの組合せによりもたらされる。